

MONTHLY

連合埼玉

V O L . 2 5 1 2013年1月1日

発行 日本労働組合総連合会埼玉県連合会(連合埼玉)
発行人 佐藤道明
〒330-0064さいたま市浦和区岸町7-5-19(あけぼのビル2F)
TEL048-834-2300(代表) 毎月1日発行



記事内容

- ☆年頭挨拶
- ☆2013年会長年頭挨拶
- ☆春闘方針ポイント
- ☆第46回衆議院選挙結果報告
- ☆青年委員会定期総会報告 / 女性委員会定期総会報告
- ☆埼玉シニア連合定期総会報告 / 春闘パワーアップセミナー開催のお知らせ
- ☆連合古賀会長ラジオ出演 / もうすぐ選挙 / 1月の行動日程
- ☆あけぼのビル



謹んで新春のお喜びを申し上げます。
輝かしい新年を迎え、皆様のご健康とご繁栄を
心よりお祈り申し上げます。

すべての労働者の処遇改善をめざして

連合埼玉会長 小林直哉

新年明けましておめでとうございます。連合埼玉に集う皆様には良い年を迎えられたことと存じます。日頃は連合埼玉の諸活動に対しご協力を頂き、誠にありがとうございます。

昨年の明るい話題は、ロンドンオリンピックとノーベル賞でした。オリンピックでは、女子レスリングの吉田沙保里選手やサッカー・なでしこジャパンなど女性の活躍が目立ちました。今後、閉塞感のある日本社会を打開するには女性の活躍が必須であることを暗示しているようでした。もう1つの話題は、山中伸弥教授のノーベル医学賞受賞で、iPS細胞の発見が、難病に苦しむ方の夢につながると思います。そんな彼が受賞の際、「力を貸してくれた研究所の多くの仲間は、有期雇用者だ。何とか雇用不安のない正規職員にしたい」とコメントしました。非正規問題に取り組む私たちにとって、とても新鮮で共鳴するものでした。

一方、昨年の厳しい話題は年末総選挙の結果でした。連合が支援した民主党は衝撃的な大敗を喫しました。厳しい選挙戦に取り組んで頂いた皆さんに改めて感謝申し上げます。成熟した民主主義国家には、政権担当能力を備えた強い野党の存在が不可欠です。民主党には今回の屈辱を糧に捲土重来を期して欲しいと思います。



連合埼玉 小林直哉会長

さて、大震災から間もなく2年になります。日本の景気は、世界景気の減速などで停滞しています。とりわけ中小企業にとっては、デフレや円高などの影響も懸念され予断を許さない状況です。こうした厳しい中で、まもなく春闘が始まりますが、連合は賃上げによる内需拡大とデフレ脱却を目指します。勤労者世帯の年収は、94年～2010年の間で、月額10万円減少しています。個人消費がしぼんで、デフレが続くのも当たり前です。さらに非正規労働者は、全雇用労働者の35%を上回り、年収200万円以下で働く人は1100万人に達しています。今春闘は「すべての労働者の処遇改善」に向け4年目の闘いと位置付け、震災復興に加え、より社会性を追求した運動を展開します。連合埼玉は39産別、12地協、780組合が連携を取り、組合員皆さんと一体となって果敢に挑戦していきたいと思います。

本年が皆様にとって良き一年となるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて

連合会長 古賀伸明

新春を迎え、2013年が皆様にとって明るく実りの多い年となるようお祈り申し上げます。そして、東日本大震災の被災地で復興再生に取り組んでおられる方々、被災地を離れて避難生活を強いられている方々が、一日も早く穏やかな生活を取り戻せるよう心より祈念いたします。

今年は、「三つの参加」を進めたいと思います。

まずは、社会への参加です。連合は、わが国が目指すべき社会像として、誰もが働くことを通じて社会に参加できる「働くことを軸とする安心社会」を提起しました。働くことに最も重要な価値を置き、一人ひとりが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会的にも経済的にも自立し、そして自立することを相互に支え合う。「安心社会」を実現するためには、雇用・労働政策のみならず、社会保障、税制、財政、そして産業政策などあらゆる政策を総動員し、雇用機会を創出し、雇用の質を高めることが重要です。女性、若者、高齢者、障害をもつ人々を含め、すべての人々にディーセント・ワークを保障する取り組みを強化していきます。



連合 古賀伸明会長

次に、人々の政治プロセスへの参加を促進することです。政治への参加とは、選挙や代議制に限ったものではなく、暮らしや働き方に関する政策決定に私たち自身が主体的に参加することです。一人ひとりが、地域や職場で自分の意見を述べ、考えの違う人たちの声に耳を傾け、活発に議論し、共に行動を起こしていく。そうすることで、誰もが社会にとってかけがいのない存在となり、互いに支え合うという意識が醸成されます。

三つ目は、すべての働くものの連合運動への参加を促進するよう取り組むことです。重要な社会的インフラである集团的労使関係をすべての職場に広げるため、一人でも多くの仲間を連合運動に結集し、「1000万連合」に向けての取り組みを着実に進めます。同時に、連合は、労働運動の一層の社会化を目指します。格差、貧困、社会の不条理に敢然と立ち向かう社会運動の核となる覚悟です。そして、労働金庫、全労済、労福協等と培ってきた共助の輪に、非正規労働者、長期失業者など最も共助を必要としている人々が参加できるよう、具体的な取り組みを進めなければなりません。

連合は、引き続き被災地の復興・再生に全力を尽くし、「働くことを軸とする安心社会」の実現に邁進してまいります。本年も、連合へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「傷んだ雇用・労働条件」の復元をはかっていこう

2013春季生活闘争方針

1. 2013春季生活闘争の基本的考え方

「働くことを軸とする安心社会」の実現と、日本経済の自立的・継続的な成長をはかっていくためにも、国民一人ひとりが置かれた環境と能力に応じて価値創造に参画し、成果を分配することで生き活きと働く人が増える社会を構築することが重要である。そのためにも、「傷んだ雇用・労働条件」の復元をはかっていく。

特に賃金における「格差是正」の実効性を高めるために、個別賃金をより重視して取り組みを進めることで、ミニмум水準のキープをはかり、めざすべき賃金水準の追求と賃金水準開示を通じて個別賃金水準の社会的波及力を高めていく。

2013春季生活闘争の展開については、「傷んだ雇用・労働条件」の復元をはかっていくために、「労働条件の底上げ・底支えと復元」「すべての労働者の処遇改善」「高付加価値を生み出す人財の育成・処遇」「格差是正」を通じて、すべての労働組合は賃上げ・労働条件の改善のために1%を目安に配分を求めるとともに、交渉結果の社会的波及をめざす。

2. すべての組合が取り組む課題(ミニмум運動課題)

すべての組合が共闘して取り組む課題として、以下の5つの項目を「ミニмум運動課題」として設定し、労働組合運動の求心力を高めるとともに、交渉結果の社会的波及をめざす。

- ① 賃金制度の確立・整備をはかる
- ② 賃金カーブ維持分の明示と確保
- ③ 非正規労働者を含めたすべての労働者を対象とした処遇改善
- ④ 企業内最低賃金協定の締結拡大と水準の引き上げ
- ⑤ 産業実態をふまえた総実労働時間の縮減、時間外・休日労働の割増率の引き上げ等

平成25年4月1日から希望者全員の雇用確保を図るための 高年齢者雇用安定法が施行されます

平成25年4月1日から、高年齢者雇用安定法が改正され、希望者全員を65歳まで雇用する制度の導入が事業主に義務付けられました。

定年を65歳未満に定めている事業主は、その雇用する高年齢者の65歳までの安定した雇用を確保するため、次の①～③のいずれかの措置(高年齢者雇用確保措置)を講じなければなりません。

- ① 65歳までの定年引上げ
- ② 希望者全員を対象とする65歳までの継続雇用制度
- ③ 定年の定め廃止

65歳未満の定年を定めている事業主が、高年齢者雇用確保措置として継続雇用制度を導入する場合、現行の法律では、継続雇用の対象者を限定する基準を労使協定で定めることができます。今回の改正でこの仕組みが廃止され、平成25年4月1日からは、希望者全員を継続雇用制度の対象とすることが必要になります。

*労使協定による「継続雇用の対象者を限定する基準」は認められなくなりました。

【経過措置】

ただし、以下の経過措置が認められています。

平成25年3月31日までに継続雇用制度の基準を労使協定で設けている場合

- ・平成28年3月31日までは61歳以上の人に対して
- ・平成31年3月31日までは62歳以上の人に対して
- ・平成34年3月31日までは63歳以上の人に対して
- ・平成37年3月31日までは64歳以上の人に対して

基準を適用することができます。

◆問い合わせ: 埼玉労働局 職業安定部 職業対策課 ☎048-600-6209 または最寄りのハローワークまで

第46回衆議院議員選挙

連合埼玉推薦候補者3名が当選

12月16日投開票で行われた第46回衆議院議員選挙は、民主党の政権運営に対する厳しい批判のなか行われた結果、全国で公示前の230議席から57議席へと大幅な議席の減少となりました。埼玉県内においても、公示前の14議席から3議席へと大きく減らしています。また、確保した3議席も2議席が比例当選であり、小選挙区での勝利は1議席のみという非常に厳しい結果となりました。

各構成組織、各地域協議会ならびに各加盟組合の役員、組合員の皆様には、非常に厳しい選挙戦ではありましたが、今までの国政選挙での経験以上に大きなご支援、ご協力を頂きました。

これまでご尽力頂きました皆様方に改めて敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

» 当選者



第1区 たけまさ 公一
(北関東ブロック比例当選)



第5区 えだの 幸男
(選挙区当選)



第6区 大島あつし
(北関東ブロック比例当選)

» 埼玉県内各区の選挙結果

当日有権者数:5,865,464人 投票者数:3,366,941人 投票率:57.40%(前回66.25%)

第1区	第2区	第3区	第4区	第5区
たけまさ 公一	石田 勝之	細川 律夫	神風 ひでお	えだの 幸男
76,583票(次点)	50,711票(3位)	58,890票(次点)	53,366票(次点)	93,585票(当選)

第6区	第7区	第8区	第9区	第10区
大島 あつし	島田 ちやこ	おのづか 勝俊	いがらし 文彦	ゆげ 勇人
90,673票(次点)	38,335票(4位)	46,394票(次点)	49,981票(次点)	18,157票(4位)

第12区	第13区	第14区	第15区
本多 平直	もりおか 洋一郎	中野 ジョー	高山 さとし
36,500票(3位)	45,019票(次点)	42,655票(3位)	49,147票(次点)

» 比例北関東ブロック 民主党得票数

埼玉県内:529,984票(16.04%、9政党中3位)

北関東全体:976,922票(15.11%、9政党中3位、獲得議席数3議席)

先人が築き上げた運動や理念を大切に 顔合わせ・心合わせ・力合わせ

青年委員会第24回定期総会

11月30日(金)、あけぼのビルにおいて“青年委員会第24回定期総会”が開催され、2012年度活動・会計報告、2013年度活動方針案・予算案・役員選出の全議事が満場一致で承認された。

冒頭、小林青年委員長より「昨年3月11日に発生した震災から1年8ヶ月以上が経過したが復興は道半ばである。1日も早い復興のためにできる事は何か、何をすべきかを考え活動に取り入れていきたい。また、この1年の活動を振り返ると、「自らが考え動く」ことを目標に、産別青年委員会報告、民主党埼玉県連市民青年局との意見交換など、従来の活動より多くの活動を展開した。今年度は、若者の力を労働運動のなかに大きく生かし、一人でも多くの若者が幅広く労働運動を通じ生き甲斐を見出すことのできる活動を推進する。若年層の組合離れが指摘されているが、先人が築き上げた運動や理念を大切にしながら、時代の変化を見据え、顔合わせ・心合わせ・力合わせまで一気に進めていきます」と挨拶がされた。議事についても全て承認され総会を終了した。

総会終了後には、交流懇親会を開催し、日ごろ交流のない構成組織青年層が様々な話題で盛り上がり無事に終了した。



挨拶をする小林委員長



総会の様子

■退任役員

役職	氏名	出身組織名
副委員長	酒寄 友宏	情報労連
幹事	洪澤 大輔	UAゼンセン
	椎名 邦充	自治労
	松下 和生	国公総連
	深瀬 匠	化学総連
	久森 政弘	全国ガス
	酒井 章貴	建設埼玉

■2013年度新役員体制

役職	氏名	出身組織名
委員長	小林 孝徳	UAゼンセン
副委員長	甘浦 大	運輸労連
事務局長	梶原 健太	電機連合
事務局次長	小岩 陸	JAM埼玉
幹事	下入佐隆行	自動車総連
	佐藤 洋太	UAゼンセン
	山本 真哉	自治労
	佐々木泰平	JP労組
	沼田 賢洋	電力総連
	篠崎 一政	情報労連
	田村 和也	JEC連合
	石井 一行	印刷労連
	矢口 昌広	JR総連
	中洞 成人	基幹労連
	高井 智史	国公総連
	堀欠 勇樹	化学総連
	岡田 泰浩	関信国税
	石津 真介	全国ガス
天沼 毅大	建設埼玉	

男女がともに働き続けられる環境づくりをめざして

女性委員会第24回定期総会

12月7日(金)さいたま共済会館において「女性委員会第24回定期総会」が開催された。

冒頭、横山委員長は「埼玉県は、埼玉労働局、県内経済団体、労働団体と男女の育児と仕事の両立や女性の就業を支援する“短時間勤務制度”の普及促進、定着を推進するとし、2013年度中に県内全企業へ制度導入することをめざし、『短時間勤務制度の普及促進に関する共同宣言』を行なった。これは、女性委員会として政策制度要請やアピール行動などの活動を継続してきた成果の1つだと考えている。今後も男女がともに働き続けることができる環境をつくることをめざし、活動を継続してもらいたい」と挨拶された。

2012年度の活動報告・決算報告、2013年度の活動方針である、①男女平等参画社会の実現に向けた取り組みの推進、②ワークライフ・バランスが確保される職場づくりの推進、③あらゆる分野への男女平等参画の推進、以上3点を中心とした具体的取り組みを確認した。

また17年間活動を続けてこれ今年度で退任される横山委員長より、構成員のみなさまに女性委員会の活動への積極的な参加のお願いと、新体制となる上杉委員長へのエールが送られた。

最後に、男女にかかわらず「働くことを軸とする安心」を実感できる社会をつくることを構成員全員で確認し総会は締めくくられた。

総会終了後、体験学習会としてNPO法人青果物健康推進協会榎本房枝先生による「健康セミナー」が開催され、野菜を摂ること、食事バランスガイドを利用したバランスのよい食事の大切さのお話いただいた。また、手軽に野菜がとれる簡単レシピの紹介と実際に参加者皆さんで試食し、和やかにセミナーを終えた。



挨拶をする横山委員長



参加者のみなさん

■2013年度新役員体制

役職	氏名	出身組織名
委員長	上杉 裕子	電機連合
副委員長	吉川 和美	JAM埼玉
事務局長	井上 尚子	情報労連
事務局次長	伏見美千代	UAゼンセン
幹事	成田 美香	自動車総連
	榎本 友子	自治労
	佐藤 樹利	JP労組
	小川 由美	電力総連
	石岡 真弓	JEC連合
	渡辺真由美	国公総連
	中村 明子	関信国税
	朝海 登紀	埼玉教組
	石塚由喜菜	建設埼玉

■退任役員

役職	氏名	出身組織名
委員長	横山 薫	自治労
幹事	原 千恵	自動車総連
	大川かつよ	サービス・流通連合
	渡邊 緑	JP労組
	吉田恵美子	国公総連
	神田 弥生	建設埼玉

多くの高年齢者・年金生活者パワーを退職者連合に結集させよう

埼玉シニア連合第16回定期総会

11月29日(木)さいたま市・あけぼのビルで埼玉シニア連合の第16回定期総会が開催された。

主催者を代表して生方会長より「今回の総会は、来年、埼玉シニア連合が結成20周年を迎えるにあたり大変意義のある総会です。皆様の建設的な意見で、より良い方針が決められるようお願いいたします。今年度の埼玉シニア連合の運動課題は、各種交流行事の参加要請のあり方について次年度から全組織に参加要請し、多くの皆様と交流を深めて頂くようにしていきます」と挨拶した後、連合埼玉の小林会長をはじめ、来賓の方々に挨拶をいただいた。

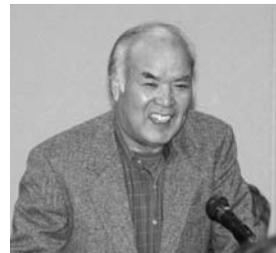
続いて2012年度活動経過報告および会計・監査報告が提案され、満場一致で承認された。議事では、第1～4号議案がそれぞれ提案され、いずれも満場一致で可決・承認された。

活動方針では、①組織強化と拡大に向けた活動、②連合埼玉と連携および政策制度改善の取り組み、③退職者連合と連帯した活動の展開などの諸活動方針が提起された。

最後に、今総会をもって退任される永野幹事および新役員のあいさつを受けた後、総会は成功裏に終了した。



挨拶をする生方会長



退任あいさつをする永野幹事

■2013年度新役員体制

役職	氏名	出身組織名
会長	生方 文人	電機連合
副会長	澤井 敏夫	JP労組
	村田 明	自動車総連
事務局長	駒込 登	JAM埼玉
事務局次長	小穴真一郎	連合埼玉
幹事	飯塚 貴	電力総連
	松川 正登	国公総連
	竹澤 一枝	情報労連
	小林 真一	基幹労連
	倉田 久男	UAゼンセン
	野澤 健司	自治労
	橋詰 康昭	JR総連
	田中 正一	運輸労連
会計監査	長峯 友作	私鉄総連

■退任役員

役職	氏名	出身組織名
幹事	永野 直次	運輸労連

連合埼玉2013春季生活闘争

“パワーアップセミナー”開催について

2013春季生活闘争パワーアップセミナーを下記のとおり開催いたします。

1.日時・場所

2013年1月27日(日)「あけぼのビル」3階:会議室
 2月 3日(日)「あけぼのビル」5階:会議室
 10時00分～16時00分 ※受付開始は、9時30分から
 *両日も同じ内容です。都合の良い日での参加をお願いします。

2.内容(予定)

- (1)2013春季生活闘争について
 - ①連合埼玉2013春季生活闘争方針について(2013連合白書について)
 - ②賃金ミニマム運動 実態報告・活用方法等
 - ③埼玉県の経済・経営状況について
- (2)2013春闘の進め方について
 「モデル賃金の必要性・個別賃金の取り組み」について
 講師:連合本部 労働条件・中小労働対策局 久保局長
- (3)意見交換会
- (4)まとめ

3.対象者

中小労組の役員を対象としますが、未加盟組合等、他役員の方の参加も可能です。
 特に「賃金実態調査」の協力を頂いている加盟組合への参加要請をお願いいたします。

連合提供ラジオ番組 「やくみつるの目指せ!安心社会~働くひと応援団~」放送のお知らせ

ホームページやトピックスNo.22でもお知らせしていますが、「『働くことを軸とする安心社会』の社会的浸透を目指す取り組み」として、古賀会長がラジオ番組に出演しています。

1. 放送日 2012年11月~2013年3月まで毎週水曜日20:20~20:35
2. 放送局 文化放送(AMラジオ 1134kHz)
http://www.joqr.co.jp/index.php
3. 番組名 「やくみつるの目指せ!安心社会~はたらくひと応援団~」
4. 出演者 パーソナリティ :やくみつる氏(漫画家)
司会 :文化放送アナウンサー
ゲストアドバイザー :古賀伸明会長

古賀会長がアドバイスやコメントを述べていますので、是非ご視聴ください。
これまでの放送を聞きたい方は <http://www.jtuc-rengo.or.jp/info/shutsuen.html>



連合マスコットキャラクター
ユニオニオン

= も う す ぐ 選 挙 =

川越市長選挙

◆川合 善明(かわい よしあき) 61才(無所属・現1・連合埼玉推薦初)
告示日:2013年1月20日(日) 投票日:2013年1月27日(日)

戸田市議会議員選挙

◆富岡 節子(とみおか せつこ) 57才(民主党・現1・連合埼玉推薦初)
告示日:2013年1月20日(日) 投票日:2013年1月27日(日)

現在予定される1月の日程表です

1月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	火		
2日	水		
3日	木		
4日	金		
5日	土		埼玉教組「新春旗開き」(13:30~・さいたま共済会館)
6日	日		
7日	月		連合新年交歓会(16:00~・ホテルラングウッド)
8日	火		①埼玉新聞社「新年賀詞交歓会」(17:00~・浦和ロイヤルバインズホテル) ②自治労埼玉「新春旗開き」(18:00~・さいたま共済会館)
9日	水		
10日	木	①第2回四役・執行委員会(10:00~・ときわ会館) ②東日本大震災被災地支援2013新春のつどい(16:00~・ときわ会館)	経営者協会「新年会員懇談会」(13:30~17:00)
11日	金		①情報労連「新春の集い」(15:00~・ときわ会館) ②電機連合「新春旗開き」(18:00~・伊香保「ホテル木暮」) ③全水道埼玉「旗びらき」(18:30~・さいたま共済会館)
12日	土		北埼玉地域協議会第19回地協委員会(10:00~・羽生市民プラザ)
13日	日		
14日	月		
15日	火		①建設埼玉「新春の集い」(15:00~・ラフレさいたま) ②埼玉県社労士会「新年賀詞交歓会」(16:00~・ホテルプリランテ武蔵野) ③交連労協「新春旗開き」(18:00~・大宮サンノレス)
16日	水		東部地域協議会「新春のつどい」(18:30~・春日部商工振興センター)
17日	木		①連合関東ブロック幹事会(10:30~・連合会館) ②地方連合会事務局長会議(13:30~・連合会館)
18日	金		①JP労組「新春の集い」(17:00~・ときわ会館) ②秩父地域協議会第9回地協委員会(18:00~・荷車屋会館)
19日	土		川越・西入間地域協議会第3回地協委員会・旗びらき(14:00~・川越ラ・ポア・ラクテ)
20日	日		①川越市長選挙告示日 ②戸田市議会議員選挙告示日
21日	月	第1回組織委員会(10:00~・連合埼玉会議室)	熊谷・深谷・寄居地域協議会第3回地協委員会(18:00~・キングアンバサダーホテル)
22日	火		①男女雇用機会均等法学習会(13:30~15:00・連合会館) ②埼玉県私鉄「団結旗開き」(18:00~・さいたま共済会館)
23日	水		埼玉県生産性本部「新春労使懇談会」(15:00~18:45・埼玉会館)
24日	木	第1回地協議長・事務局長会議(15:00~・あけぼのビル501)	
25日	金	第1回政策制度委員会(15:00~・連合埼玉会議室)	①連合関東ブロック「女性会議」(~26日・東京) ②さいたま市地域協議会地協委員会・新春の集い(18:15~19:30~・ときわ会館)
26日	土		
27日	日	2013春季生活闘争パワーアップセミナー(10:00~16:00・あけぼのビル3F)	①川越市長選挙投票日 ②戸田市議会議員選挙投票日
28日	月	①第1回男女平等参画推進委員会(13:30~15:30・連合埼玉会議室) ②第1回組合役員教育プログラム運営委員会(16:00~17:30・連合埼玉会議室)	
29日	火		JAM埼玉「躍進パーティー」(17:30~・大宮ソニックシティー)
30日	水		①地方代表者説明会(13:30~16:00・連合会館) ②県央地域協議会第5回地協委員会(18:15~・東武バケットホール上尾) ③JPR総連埼玉県協議会(18:30~・東天紅)
31日	木		①2012年度連合アドバイザー全国交流研修会(13:00~1日・後楽園ホテル) ②連合関東ブロック「2013春季生活闘争推進会議」(13:30~17:00・あけぼのビル)

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◆第46回衆議院選挙の結果

12月4日公示、16日投開票で行われた衆議院選挙は、野党第一党の自民党が294議席(改選前118議席)を獲得する大勝で、第一党に返り咲いた。また、公明党の31議席と合わせて衆議院再可決が可能となる3分の2を超える325議席を獲得した。

一方、民主党は改選前の230議席からほぼ4分の1に留まる57議席しか獲得できず、藤村修官房長官ら現職閣僚7人、仙石由人副代表ら党幹部の落選が相次いだ。現職官房長官が落選した選挙は過去に例がなく、現職閣僚の落選人数についてもこれまでは1976年の第34回衆議院選挙、1983年の第37回衆議院選挙での3人が現憲法下では最多であったが、今回はそれをはるかに上回る記録的敗北となった。また、議席数は1998年の新しい民主党結党時の98議席をも下回り、同党の参議院議員の数より少なくなった。

選挙での動向が注目されていたいわゆる第三極では、日本維新の会が54議席(改選前11議席)、みんなの党が18議席(改選前8議席)と大幅に躍進する一方、民主党離党者が多数参加した日本未来の党は9議席(改選前61議席)と惨敗、民主党と共倒れに終わった。また、これら第三極に埋没する形で国民新党、新党大地、社民党なども議席を落とした。これにより、2009年9月に発足した民主党政権はわずか1期・3年3ヶ月で幕を下ろすこととなり、自民・公明両党が政権を奪還、12月26日安倍内閣が誕生した。

◆第46回衆議院選挙の特徴

投票率59.32%と戦後最低を記録した今回の衆議院選挙を一言で言うならば、熱気や高揚感なき消去法による選挙であったと言える。2005年の郵政選挙、2009年の政権交代選挙のように有権者が高揚感を感じることはなかった。

その1つの要因として12党乱立があげられる。消費税増税論者が減税や反消費税増税を掲げる政治家たちと新党を結成したり、政策や主義・主張が異なる政治家たちが十分な議論もないまま、一夜にして新党を結成するなど国民の政治不信を助長することとなった。また、民主党の惨敗は、公約を破り、誠実さを欠く政権運営を続けてきたことへの失望感が有権者の懲罰的投票として現れた。

朝日新聞が12月17日夕から18日夜にかけて行った世論調査結果では、衆議院選挙において国民が感心を持った政策は、「景気や雇用」35%、「消費税や社会保障」30%、「原発などエネルギー問題」17%、「憲法改正や外交・安全保障」12%となり、政策における国民と政党・候補者との認識のギャップがうかがえる。

また、自民党が議席を大きく伸ばした理由の問いには、「自民党の政策を支持した」7%、「民主党政権に失望した」81%である。一方、民主党に自民党に対抗する政党として「立ち直ってほしい」と答えた割合は53%、「そうは思わない」38%であり、国民が民主党の再建を期待していることがうかがえる。

投票率が低かったのはどうしてかの問いでは、「身近な争点がなかったから」6%、「投票したい政党や候補者がいなかったから」29%、「投票しても政治は変わらないから」51%である。これまでの「ねじれ国会」では、予算関連法案等を人質にしたり、野党多数の参議院で首相や閣僚の問責決議を乱発して政権を追い込んだりする手法が横行し、党利党略による不毛な対立を見せ続けられたことによる政治不信の表れである。

自民党安倍晋三総裁は「自民党に信任が戻ったのではなく、民主党政治の混乱に終止符を打つべきだ」という国民の判断だった」と敵失による勝利だと認めている。このことは、政党支持の指標となる比例代表選挙の獲得議席数を見れば明らかである。自民党が圧勝した2005年衆議院選挙の比例獲得議席数は77議席、2009年の民主党は87議席を獲得している。今回の比例代表選挙における政党の得票率は、自民党27.6%で57議席、野党第一党の民主党は15.9%で30議席、野党第二党に躍進した日本維新の会は20.3%で40議席を獲得した。このことから自民党の勝利は必ずしも民意を反映したものではなく、多党乱立と低投票率が自民党を利した結果であると言える。

◆民主党再建のために望むこと

結党以来の惨敗を喫した民主党に望むことは、今回のマニフェストで掲げた「民主党の理念」を具体的な政策に磨き上げ、政権担当能力を身につけることである。そのためにも異論を排除するのではなく議論を尽くすこと、決まったことは一丸となって推し進めることが必要である。惜敗した推薦候補者には捲土重来を期し、実直に活動を続けることを期待する。

最後に、厳しい選挙戦において昼夜を問わず献身的に支援いただいた各位に心から感謝申し上げる。

民主党の理念

誰のための政党か

民主党は、「生活者」「働く者」「納税者」「消費者」をよりどころにし、将来世代の声なき声に耳を傾けています。

めざす国

民主党は、共生の社会をつくり、平和と繁栄の世界の実現にむけ、貢献する国をめざしています。

めざす社会

透明・公平・公正なルールにもとづき、正義が貫かれる社会。働く人が豊かさや幸せを実感できる社会。格差を是正し、誰にも「居場所」と「出番」のある社会。

2012.12.25